

## 1. 授業のテーマと到達目標

### (1) テーマ

- ・公共交通について書かれた英語の文献を読むとともに、論文執筆に関する知識を講義する。

### (2) 到達目標

- ・公共交通を中心とした交通に関する深い理解を得ることができる。
- ・英語で書かれた学術書を読むことができる。
- ・電子ジャーナルを使って学術論文にアクセスできる。
- ・学術論文執筆のマナーやアカデミックライティングの基礎を理解できる。

## 2. 授業の概要と計画

毎週 1 章ずつを目安に講義を行うが、学術論文執筆のマナー、アカデミックライティング、論文審査のシステム、電子ジャーナルを使った論文検索などにも触れる予定である。以下に教科書の目次を示す。

1. Organization and control of transport in the British Isles
2. The role of public transport
3. Service quality and marketing
4. The technology of bus and coach systems
5. Urban railways and rapid transit systems
6. Network planning
7. Costing and cost allocation methods
8. Pricing theory and practice
9. Rural public transport
10. Intercity public transport
11. Some current policy issues

## 3. 成績評価と基準

割り当てられた箇所の報告およびレポート（55%程度）および期末試験（45%程度）により評価する。レポート課題として予定しているものを次に示す。

- ・論文執筆に関すること
- ・論文の検索に関すること
- ・ウェブを使った英語表現の検索に関すること
- ・教科書で取り扱われている内容を自分でまとめたり調べたりすること

毎回出席を取り、欠席 1 回につき 6 点ずつ減点する予定である。ただし、担当となっている週の欠席は厳禁である。期限に遅れたレポートは受け取らない。より具体的な評価の方法については第 1 回目の講義で説明するので必ず出席すること。

## 4. 履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特にないが、交通論が関係する科目である。

## 5. オフィスアワー・連絡先

講義中の質問を歓迎する。オフィスアワーは設けないが、電子メールによる質問や電子メールでアポイントメントを取った上での質問にも対応する。

## 6. 学生へのメッセージ

交通に興味のある学生には教科書の内容が関連している。大学院への進学や研究者になることを考えている学生、卒業論文などの論文の執筆に関心のある学生には論文執筆のマナー、アカデミックライティング、論文審査のシステム、電子ジャーナルを使った論文検索、ウェブを使った英語表現の検索、が関連している。講義では受講者名と通し番号をつけた受講者リストを全員に配布するので、あらかじめ了承しておいてくだ

さい。

#### 7. 今年度の工夫

文献を講読するとともに，論文執筆に関する知識を講義する。

#### 8. 教科書

Peter White, 2008. Public Transport: Its Planning, Management and Operation (Fifth edition), Routledge.  
(ISBN: 978-0415445306)

#### 9. 参考書・参考資料等

必要があれば講義中に説明する。

#### 10. 授業における使用言語

日本語。ただし，教科書は英語。

#### 11. キーワード

交通 公共交通 英語 アカデミックライティング 電子ジャーナル

#### 12. 参考URL

<http://www.b.kobe-u.ac.jp/~sanko/lecture-j.html>